

トークンレス・ワンタイムパスワード

PassLogic

エンタープライズ版

バージョンアップ概要とリリースノート(エンタープライズ版 v2.5.0)

2016/11/30



1. リリースノート
2. 機能アップ
3. 機能改善・不具合修正
4. その他・バージョンアップされる場合の注意点

PassLogicの歩み

1987

「乱数表から抜き出してワンタイムパスワードを生成する」システム PassLogic認証方式を発明。

2000

PassLogic認証方式が米国特許 (US6141751) を取得。



2000-2006

パソロジック方式の技術ライセンスを日本企業へ提供。

2007

PassLogicのパッケージ販売を開始。SSL-VPN連携機能を実装。



2008

Webサービス組み込み用APIを強化。スマートデバイスにいち早く対応。

2009

Webアプリとの連携機能 (リバースプロキシ & SSO) を実装。LDAPからのユーザID同期を実装。

2010

セキュリティポリシーや運用機能、連携機能など基本機能を大幅に拡充。英語対応し海外展開が可能に。マルチテナント版リリース。

2011

クラウドアプリ連携 (SAML) に対応。スマートデバイス最適化。

2012

マルチテナント版機能拡充しサービスプロバイダのデファクト採用の礎に！ (ソフトバンク/富士通/KDDI/NEC/IIJ など)

70万ID突破

2013

運用の自動化を実現する機能拡充。

80万ID突破



2014

小規模から大規模要件まで対応可能なエンタープライズ版をリリース。

90万ID突破

2015

エンタープライズ版の機能拡充。主要連携製品とメーカー間の検証を完了。

100万ID突破

2016

リリースノート

リリースノート 2/2

【その他・バージョンアップされる場合の注意点】

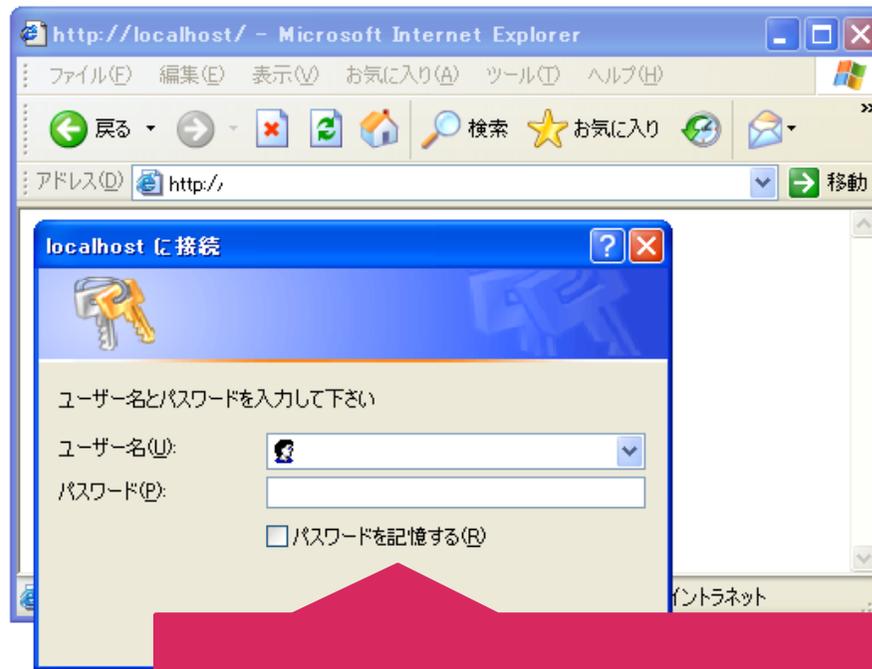
- ・ユーザ画面に表示されるエラーメッセージが日本語化されました。
- ・ユーザログイン画面の AD パスワード入力欄のデザインが修正されました。
- ・バックアップ・リストアの操作をコマンドラインから行う手順（リストアコマンド）がマニュアルに追記されました。
- ・xauth_passlogic_00.conf の AuthPasslogicParamN に HTTP ヘッダー名を指定した場合、リバースプロキシから WebAPP に送られる HTTP ヘッダー名には PL- が先頭に付与されていましたが、2.5.0 から PL- を付けず AuthPasslogicParamN で指定したヘッダー名がそのまま使われるようになりました。
- ・「PassLogic インストール・運用管理ガイド」
「バックアップ・リストア」章に、16MB を超えたバックアップファイルのリストアに必要な設定手順を追記しました。
「PassLogic インストール・運用管理ガイド」「ユーザー一括登録、CSVダウンロード」、「ドメイン管理」章に、
シークレットパターンとスタティックパスワードのいずれにも指定がない場合の、新規ユーザ登録に関する注意事項を追記しました。
- ・「レプリケーションセットアップ&リカバリガイド」
「PassLogic サーバ構成」章を追加しました。
「ゲートウェイサーバ 接続先の変更」章を追加しました。
「認証サーバ リカバリ手順」章に、LDAP ID 同期設定に関する注意事項を追記しました。
- ・PassLogic-ent-2.5.0 以降、PassClip 認証を行う際にご利用いただくアプリケーションが PassClip から PassClip L に変更になりました。



機能アップ

BASIC 認証 に SSO できるようになりました

WebApp（リバースプロキシ連携）で、フォーム認証ではなくBASIC 認証を利用したアプリに対しても SSO できるようになりました。



ベーシック認証方式のウェブアプリケーションに対して
シングルサインオンができるようになりました。

乱数表の最大サイズが拡張されました

指定できる乱数表の最大のサイズが、4x12 から 4x16 に拡張されました。

管理ツールの設定項目

乱数表の縦横サイズ

縦サイズ 横サイズ

※乱数表の縦横サイズを指定します。(最大値:縦4×横16マス)

PassLogic

6	0	3	7	2	3	6	7	6	1	5	0
9	2	0	4	5	7	2	9	0	1	9	4
8	5	1	2	1	5	6	2	8	0	1	3
7	7	3	1	4	0	3	3	1	9	8	4

パスワードを入力してください。 Secured by PassLogic.

ログイン

1	2	3	4	5
6	7	8	9	0
del				

(C) Passlogy Co.,Ltd. 2000-2016



PassLogic

1	5	0	7	6	2	3	5	9	0	1	4	4	9	7	8
0	3	1	9	6	9	2	5	1	2	8	0	7	2	8	6
2	5	3	7	1	4	3	9	8	4	2	4	8	5	7	3
5	1	6	1	3	0	6	8	9	0	6	7	4	3	2	0

パスワードを入力してください。 Secured by PassLogic.

ログイン

1	2	3	4	5
6	7	8	9	0
del				

(C) Passlogy Co.,Ltd.

4x16に対応!

ブラウザ終了後も認証状態を保持可能になりました

ブラウザ終了後でも、認証状態を保持することができるようになりました。

認証セッションの継続機能 ブラウザを開いても認証セッションを継続する場合はチェックを入れてください。

認証セッションの継続時間 (秒)

毎朝1回だけログインしたらその日はログイン状態をキープしておきたい。
といったご要望に対応できるようになります。

他にも・・・

ログインしている状態（セッションが張られている状態）であっても、PassLogicのログイン用URLにアクセスのタイミングでログアウトされていました。今回実装の機能で、セッションを維持することができるようになります。

[https://\[PassLogicサーバー\]/ui/](https://[PassLogicサーバー]/ui/)

[https://\[PassLogicサーバーのホスト名\]/ui/?sso-webapp=\[アプリケーションの名称\]](https://[PassLogicサーバーのホスト名]/ui/?sso-webapp=[アプリケーションの名称])

以前はPassLogicログイン用URLにアクセスすると
ログアウトされていた。

LDAP サーバとの通信に LDAPS が選択可能になりました

LDAP サーバとの通信に LDAPS を利用できるようになりました。

(*) 必須項目

LDAPサーバ接続設定

ドメイン名	local このドメイン名でPassLogicにユーザを取り込みます。
LDAPタイプ	Active Directory ▼
サーバ1	<input type="text"/> (*)
サーバ2	<input type="text"/> レプリケーションサーバ
ポート番号	<input type="text"/>
暗号化 (LDAPS)	<input type="checkbox"/>
バインドDN	<input type="text"/>
バインドパスワード	<input type="password"/> (*)
ツリートップのDN	<input type="text"/>
検索フィルタ	<input type="text"/> (*)

暗号化された通信での接続が可能になりました。

アカウントロック時のメール通知が可能になりました

ユーザアカウントがロックされた際に、メール通知をする機能が追加されました。

「ポリシー設定」内で送信に関する指定が可能

アカウントロック通知メール	<p>アカウントがロックされた際にメールを送ります。 ※ユーザ通知設定のCC BCCに指定したメールアドレスにも送信されます。</p> <p>送信先：</p> <p><input checked="" type="radio"/> 送信しない</p> <p><input type="radio"/> ロックされたユーザ</p> <p><input type="radio"/> 以下のアドレス</p>
	<input type="text"/>

メール通知文を編集可能

- アカウントロック通知メール -

件名	<input type="text" value="アカウントロック通知"/>
本文	<p><%UNAME%>様</p> <p>認証の連続失敗回数が規定値を超えたためアカウントをロックしました。 アカウントの解除につきましては、管理者までお問い合わせください。</p> <p>【PassLogicの利用に関するお問い合わせ先】 [御社名 部署名 担当者名] メールアドレス：[メールアドレス] 内線番号：[内線番号]</p>

boxやX-pointとのSAML連携に対応しました。



連携可能なクラウドアプリを続々追加中！



機能改善・不具合修正

ソフトウェアトークンのポリシーが指定可能になりました

ソフトウェアトークン「PassClip」で用いる、乱数表示方式、タイムステップ、桁数が設定可能になりました。

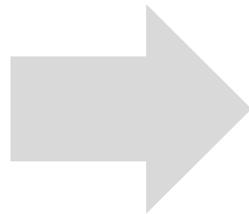
- PassClip認証 -

表示形式	<input type="button" value="ビンゴ型"/> <input type="button" value="ベーシック表示"/>
タイムステップ(秒)	<input type="text" value="60"/> ※ワンタイムパスワードの有効期間(初期値: 30)
桁数	<input type="text" value="8"/> ※ワンタイムパスワードの桁数(初期値: 8)



ベーシック表示

さらに強固なパスロジ社
独自方式に対応



さらに強固なビンゴ型

DBデタッチが可能になりました

認証サーバ冗長時、縮退運用に切り変えるためのデタッチリンクが管理画面に追加されました。サーバのOSメンテナンスなどで認証サーバのデータベースを強制的に切り離し、OS再起動後に切り離れたデータベースを再接続することができます。

The screenshot shows the PassLogic Authentication Server System management interface. The top navigation bar includes 'login as admin' and 'Main | Logout'. The main content area displays system information such as 'Admin数: 1', '登録ユーザ数 / 最大ユーザ数: 0 / 1', and 'シリアル番号: 20090526094357 (trial)'. Under the 'DB Status' section, there are four entries for DB 0 through DB 3. DB 0 and DB 1 show a green status bar with the text 'Node Running & Connect (ent-auth0 5439 2 1.000000) detach'. DB 2 and DB 3 show a black status bar with the text 'Initial Status (BackendError)'. A blue arrow points from the 'detach' link of DB 0 to a red status bar on the right that reads 'Node Down OR Not Connected (ent-auth1 5439 3 0.000000) recovery'. Below the screenshot, there are two callout boxes: a pink one on the left and a red one on the right.

Linuxのオペレーション不要で
GUIからデタッチ（切り離し）が
可能になりました。

H/W障害復旧時にPassLogic
ソフトウェアの再インストール不要
でリカバリ可能です。

SAML 連携でNameID の書式を指定できるようになりました

SAML機能が拡充され、BOX や Dropbox Business と連携可能に！

(*) 必須項目

No.	<input type="text"/> (*)
	プロバイダの表示順を入力してください。0で強制的に非表示にできます。
プロバイダ	<input type="text"/> (*)
SAMLタイプ	SP initiated SSO ▼
NameID フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:unspecified urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:emailAddress urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:X509SubjectName urn:oasis:names:tc:SAML:1.1:nameid-format:WindowsDomainQualifiedName urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:nameid-format:kerberos urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:nameid-format:entity urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:nameid-format:persistent urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:nameid-format:transient その他
UIDタイプ	
ドメイン	
RelayStateURL	<input type="text"/>
Recipient	<input type="text"/>
Destination	<input type="text"/>

NameIDフォーマットの指定が可能となり、多様な SAML SPと容易に連携可能になりました。

コンテンツ変換機能が改善されました

リバースプロキシ時に非圧縮でコンテンツを転送する設定が可能になりました。これにより、コンテンツ変換機能が改善されます。

(*) 必須項目

No. (*)
アプリケーションの表示順を入力してください。0で強制的に非表示にできます。

アプリケーション名称 (*)
アプリケーションの表示名を入力してください。(例 グループウェア)

仮想パス (*)
アプリケーションを公開する際に割り当てるパス名

ローカルアプリケーションのURL (*) IISサーバ
ローカルアプリケーションのURLを指定してください。

アクセスグループ

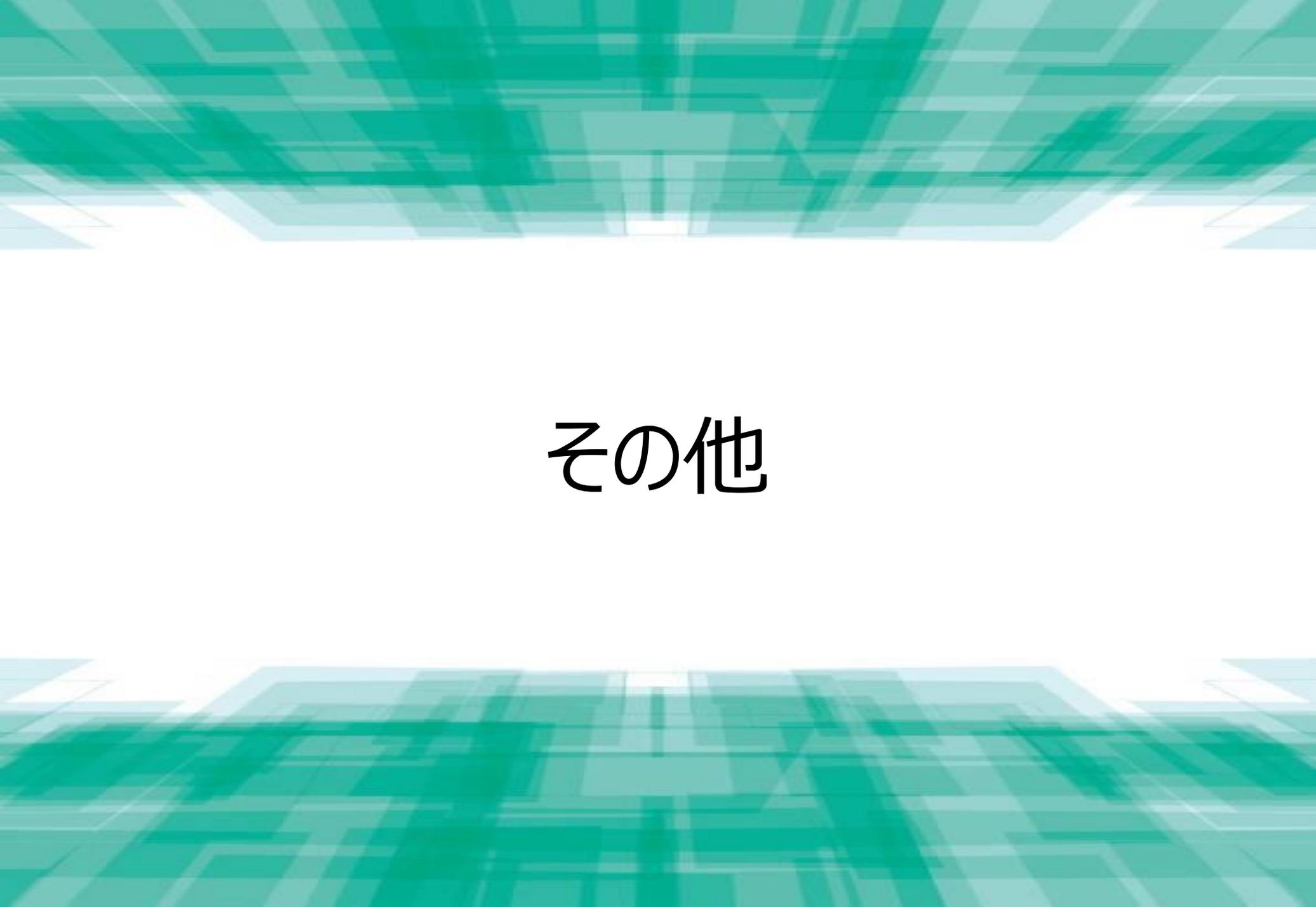
▼	▼	▼	▼	▼
▼	▼	▼	▼	▼

URLマッピング
ローカルアプリケーションの画像、JavaScript、CSS等のURLをディレクトリにマッピングして参照できるようにします。

コンテンツ変換 Accept-Encoding強制除去

ローカル
コンテン

コンテンツ変換が難しかった圧縮ファイルについても、非圧縮とすることで対応可能になりました。

The background of the slide features a complex, abstract pattern of overlapping teal and light blue geometric shapes, including rectangles and lines, creating a sense of depth and movement. The pattern is centered horizontally and vertically, framing the central text.

その他

ソフトウェアトークンの対応について



対応するソフトウェアトークンのアプリが PassClip から PassClip L に変更になりました。

ビジネス用途で使用するソフトウェアトークン機能のみに限定することで、よりシンプルで簡単な使い勝手を実現しています。

また、従来のビンゴ型表示の他、一般的なトークンと同じベーシック表示モードが追加されたため、**現在トークンを利用中のお客様も違和感なくご利用いただけます。**

ユーザ画面に表示されるエラーメッセージが日本語化されました

ユーザ画面 (/ui/) に表示されるエラーメッセージが日本語化されました。



PassLogic

ユーザIDを入力してください。

The uid or password you entered is incorrect.(54106)

ユーザーID

次へ

ja ▾

(C) Passlogy Co.,Ltd. 2000-2016



PassLogic

ユーザIDを入力してください。

ユーザID、またはパスワードが正しくありません。(54106)

ユーザーID

次へ

ja ▾

(C) Passlogy Co.,Ltd. 2000-2016

英語表示のみとなっていたエラーメッセージが
日本語表示にも対応し、
よりユーザーフレンドリーになりました。

ユーザログイン画面のフォームデザインが微調整されました（PC）

ユーザログイン画面のフォームデザインが微調整されました。

The image shows two browser screenshots of the PassLogic login page. The top screenshot shows the original design with a small 'local' dropdown menu. The bottom screenshot shows the updated design with a larger, more prominent dropdown menu. A large grey arrow points from the left towards the updated design. A red callout box with white text is positioned over the bottom screenshot, pointing to the dropdown menu.

各種入力フォームのサイズを微調整し、マウス、タッチパッド、トラックポイント、指、ペン型デバイスなど、どのような入力方式でも選択しやすくなりました。

ユーザログイン画面のフォームデザインが微調整されました（スマートフォン）

ユーザログイン画面のフォームデザインが微調整されました。



右利き、左利き、片手、両手操作など、様々な状況でも操作しやすいようにフォームサイズを調整しました。